



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

THE Y'S MEN'S CLUB OF NARA

C/O NARA YMCA, 2 Saidaiji Kunimi-cho, Nara Japan Tel. 0742-44-2207

CHARTERED SEPT. 14TH. 1950

ホームページ: <http://uchidakaikei.com/narawaizu/index.htm>

国際会長主題: 「輝かそう、あなたの光を」

'Let Your Light Shine'

アジア会長主題: 新しい時代とともにエレガントに変化を

Elegantly Change With New Era

西日本区理事主題: 原点を知り将来に生かす

Know the origin and utilize it in the future!

阪和部長主題: 10年後の阪和部へ。つなげる。～経験を生かし、目線を活かす～

会長: 四本 英夫

副会長: 中井 信一

副会長: 水田 典男

書記: 熊巳 由佳

会計: 平井 洋三

副会計: 水田 典男

直前会長: 山口 ルミ

ネット代表: 内田 彩子

4月
2023年

ブリテン
編集委員

高田 嘉昭
熊巳 由佳
中井 信一
林 佑幸
平井 洋三

クラブ会長標語: 「未来を考え、今日から行動」今できることをやり遂げましょう
Thinking about the future, taking action today. Let's do what we can do now

4月例会

日時 2023年4月8日(土) 18:30~20:30

場所 あきしの保育園ホール

<プログラム> 司会 山口ウイメン

1. 奈良クラブの歌 [今、心は少年少女]

2. 開会点鐘 四本会長

3. ワイズソング

4. 聖書・祈祷

5. ゲスト・ビジター紹介

6. 食前感謝

7. 卓話 講師: 谷村 博久様 (大阪回生病院

副院長 消化器科長)

テーマ: 胃がんの原因ヘリコバクター菌について 健診で胃がんはするべきか

8. 誕生日のお祝い

9. Y M C A ニュース

10. インフォメーション

11. Y M C A の歌

12. 閉会点鐘 四本会長



月間強調テーマ

RBM

今月の聖句

その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。(ヨハネによる福音書20章19節)



奈良基督教会牧師 司祭 古本 靖久

2023年の復活日(イースター)は4月9日です。十字架につけられたイエス様が三日目に墓の中から復活されたという出来事は、にわかには信じがたいことでしょう。イエス様の周りにずっといた弟子たちも、同じでした。イエス様が復活されたという話を聞いても、彼らは家の戸だけではなく自分の心にまで、鍵をかけていました。

そこにイエス様が来られたのです。イエス様は「平安あれ」(昔の聖書はこのように訳していました)と告げます。イエス様はなぜ復活されたのか。それは一人ひとりの心に平安を与えるためでした。そしてその「平安あれ」という言葉は、今を生きるわたしたちの心にも、届けられているのです。心を静め、イエス様の言葉に耳を傾けることができればと思います。

2023年3月度クラブ統計

在籍会員	19名	メネット	3名
出席会員	10+Z・2名 (除、広義会員)	コメット	0名
メキップ	Z・1名	ゲスト	2名
出席率 (10+Z・3)/18名	72.2%	ビジター	0名

ニコニコ献金

3月度: 13,010円

累計: 590,784円



例会 4月 8日(土) 18:30~20:30 あきしの保育園

役員会 4月24日(月) 19:00~21:00 奈良YMCA

出席第一・親睦・協力奉仕



会長通信

会長 四本 英夫

皆さま、こんにちは、四本英夫（よつもと ひでお）です。

今回は、レジリエンスについて考えます。レジリエンスとは、回復力、復元力と訳され、社会的に困難な状況や精神的に不利な状況において、それを乗り越えて回復する力を言います。3月の奈良クラブ例会にお越しいただいた卓話講師の上島博（うえしまひろし）様から、「『たすけて！』は生きぬくための合言葉」と題して、講話ならびにワークショップを開催頂きました。（詳細は3月例会報告を参照）このテーマは、困難に直面した際、一人で抱え込んでしまわずに、ためらわずに他者に助けを求めることによってレジリエンス（回復）することでした。

最近ヤングケアラーの報道をよく目にします。「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことで、責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。

令和3年度子ども・子育て支援推進調査研究事業として実施した日本総研の調査結果と今後の課題と題した資料の一部をご紹介します。

<主な調査結果>

・「家族の世話をしている」と回答した小学生は6.5%。世話を必要としている家族は「きょうだい」が最も多く71.0%、次いで「母親」が19.8%。

・世話を必要としている人が「父母」と回答した人に父母の状態像を聞いたところ、「わからない」との回答が33.3%と最も高かった。父母が病気や障がいを抱えていても、そうした状態について子どもに話していなければ、子ども自身は状況がよくわからないまま家族の世話をしている可能性がある。

・世話に費やす時間が長時間になるほど、学校生活等への影響が大きく、本人の負担感も重くなることが確認された。

・世話に関する相談状況としては、世話による制約が多い、あるいは世話にきつきさを感じている人ほど相談経験のある人が増える傾向にある。ただ、子どもからの相談相手については家族（「父母」、「祖父母」、「きょうだい」）が78.9%と最も多く、家族以外の大人については「学校の先生（13.8%）」「保健室の先生（5.5%）」「SSWやSC（3.7%）」とその割合が大きく下がる。

・学校や大人にしてもらいたいこととして、世話をしている家族がいる人全体としては、「特にない」（50.9%）が最も多かったものの、「自由に使える時間がほしい」（15.2%）、「勉強を教えてほしい」（13.3%）、「自分のことについて話を聞いてほしい」（11.9%）等の回答が目立つ。

<今後の課題>

今回は小学6年生を対象とした調査であるが、低学年、中学年の児童であれば、自らの置かれた状況を把握し、大変な状況にある場合には本人が自ら周囲に相談をすることは難しいことが想像に難くない。従って、特に小学生のヤングケアラーについては、周囲の大人が本人の様子の変化やつらさに気づき、声をかけていくことの重要性が大きいと言える。周囲の大人がヤングケアラーに対する意識を高め、必要な支援につながるきっかけを作れるような体制を整えていくことが今後の課題である、と提言しています。

周囲に助けを求めることが、悪いことではなく善いことで、援助希求力を高めることができるよう環境を整えていく必要性をひしひしと感じます。助けを求める声に耳を貸すことができれば、メンタルヘルスの悪化防止や学校生活の改善にもつながり、子供たちのレジリエンスが高まると考えます。従って、まずは子供たちの助けを求める声を聞く必要があります。一方で、何らかの理由で助けを求める声を発せられない子供

たちがいます。彼らについても、その理由を深く考え、専門家を交えた対応の必要があることも考慮しなければならないと感じました。子供一人一人に対して個別に対応する必要があり喫緊の課題と考えますが、皆さんはどう考えますか。

★100周年記念祝会に参加して★

中井 信一

3月8日の午後から13日まで記念祝会に参加する為に台北に出掛けました。9日はRBMチャリティゴルフ。日本からは2名、韓国より約10名、合計で約50名が参加致しました。快晴で風も無く、台湾での初ゴルフを元国際会長Moonご夫妻と旧知のTony Liaoさんとプレイ。終了後に市内に戻り、表彰式兼歓迎会。ワイズのVIPも参加し、賑やかな食事会になりました。因みに成績は18位（中途半端）、頂戴した商品券400元も含め、献金致しました。翌日の午前中はフリータイム、地下鉄を使い買い物と小籠包を鼎泰豊にて頂きました。午後からは、フラッグセレモニーに続き開会式。ワイズソングを全員で斉唱、この場に居る事の感動に何故か思わず涙が出ました。国際書記よりワイズ100周年の歩みのプレゼンもありました。知らない事も多く、貴重な学びになりました。晚餐会では、IBCの台南クラブから参加のメンバーと交流。クラブからのお土産も手渡しました。会員数が12名になり、苦戦していますが今後の交流を約束しました。

大会2日目は基調講演として「3.11後の地球の変化」方偉達/国立台湾師範大学教授の分かり易いお話が有りました。又、世界YMCA同盟会長Soheilaさんから現状報告、ワイズとの友好関係等についてのお話もありました。続いて、メインイベントの米国最古のトレドクラブと日本最古の大阪クラブのIBC締結式も壇上で華やかに執り行われました。同時にフィリピンと台湾のクラブのIBC締結も行われました。午後は、4方面に別れエクスカッション。夜は韓国チームの元気な踊りや全員参加型の踊り等、楽しい交流になりました。

大会最終日は国際会長、役員就任式に続き、会長、次期会長のスピーチ。次にユース2人が今後のワイズ活動に向けてのユースの現状と提言が有りました。多くのヒントも頂きました。更に今年11月に開催されますASP大会のプロモーションが元気な香港チームによって行われました。凄いインパクトでした。

最後に閉会式が執り行われ、沢山の仲間と再会の約束、ランチをご一緒に頂きました。午後はフリータイム。最後の夜は西日本区の有志と評判の台湾料理をご一緒しました。番外編ですが、月曜日にホテルから空港までタクシーで移動しましたが、小生が日本人と分かる運転手さんのリクエストで彼の大好きな「おもいで酒」、「空港」、「大阪しぐれ」を2人で大合唱しました。台湾では昭和演歌が流行っており、最後まで楽しい国際・交流になりました。改めて、「交流はワイズの醍醐味」を実感致しました。出来れば香港で開かれます11月のASP大会にご一緒に参加致しましょう。美味しい、楽しい旅になりました。



RBMチャリティゴルフに参加



IBC台南クラブの皆様



日本から参加の一部の皆様と



国際会長とホテルのバーで



賑やかなダンスで交流

★春が来て新年度へ★

黒田 幸司

3月に入って徐々にどころか急に暖かい毎日が始まってきたように感じます。つい先日まで暖房器具に手を伸ばしていたような…。

小学校のこの時期は、慌ただしく学年末の学習活動に取り組んでいます。大きな学校行事もいよいよ卒業式を残すばかりになってきました。我々教職員もその準備に追われている感じです。毎年同じような事を繰り返しているように感じますが、4月になると大きく変わる所があります。

それは、教職員と児童を含めた人の異動です。学校での行事や授業に大きな変更はないのですが、人が変わるだけで同じような活動でも過程や結果も変わってきます。教育基本法という法律に基づいている学校ですが、携わる人によってそのありようは、学校ごとに違うといつてもいいでしょう。時代ごとに求められるものには違いがあります。しかし、まず子どもの事を考えるという視点は、今後も変わらないように感じます。学校の変えるべき所、変えてはいけない所をしっかりと意識して仕事をしていきたいと思っています。



★新入会員のご紹介★

木下 修平

この度、新しく令和5年2月より、奈良ワイズメンズクラブに入会させていただいた、ランドセルの木ノ下を営んでおります木下修平です。

昨年、神戸ポートワイズメンズクラブの大野勉様にご縁を頂戴し、皆様のお仲間に加えていただきました。

私自身、様々な場面で困っている方が、少しでも束の間でも笑顔が増えればと思い、園や施設に子供服や絵本をお渡ししていました。その延長がランドセルバンクの活動ですが、私一人ではとても小さな輪でした。これからは、ワイズメンズクラブの皆様と大きな輪となって、沢山の方に喜んでいただける様、進んで行きたいと思っています。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

趣味は寺社仏閣、お城巡り、釣り、野球(奈良市軟式野球連盟に所属)





担当主事 村上 一志

奈良YMCAでは、3月19日（日）に卒業リーダー感謝礼拝を実施しました。今年は、14名の卒業リーダーの門出を祝う事ができました。コロナ渦にあり、様々な活動を制限された大学生活やYMCAでの活動だったと思います。しかし、この経験は、リーダー達にとって必ず人生の糧になると信じています。4月から、それぞれの道で頑張るって欲しいと思います。

また、奈良ワイズメンズクラブの皆様にも、YMCAの活動を1年間支えていただいた事に感謝致します。今後もYMCAの活動をご支援いただきますようよろしくお願い致します。

3月例会報告

平井 洋三

2月例会に続いて、ようやく「あきしの保育園」での開催に明るさが見え、嬉しい限りです。3月例会はゲスト・スピーカーに「子どものレジリエンス研究会」を主宰されている上島博様、ゲストに本日入会の島村知歩様・濱田メンゴ紹介の金 智重様を迎え、クラブメンバー12名を合わせ総勢15名が参集しました。式次第に従って、ゆっくり食事の後、島村様の入会式が、四本会長の司式で行われ、島村ウィメンの襟には真新しい会員バッジが光り、参加者一同の暖かい歓迎の拍手で入会を祝しました。

続いての卓話は、「『たすけて！』は生きぬくための合言葉」と題し、レジリエンス(困難に直面しても立ち直る力)をはぐくむ「助け合い体感ゲーム」の進め方について説明を受けた後、三つのグループ毎に一人づつ順に「できごとカード」の内容を発表し、「おたすけカード」を求めて、他のグループメンバーにも問いかけ、ワイワイ・ガヤガヤ時間の経つのも忘れ、助け合いの喜びを体感するゲームに興じました。

ゲームを通じての学びは、「困った時に、助けて！といえる力(援助希求力)」と共に、「困ったことを一緒に解決して、人から信頼されることの喜びを感じる力」を育むことが、人生を明るく・楽しく生きぬく上での、大きな力だということを再認識できたこと。たかがゲーム、されどゲーム!! 楽しく、有意義な体感ゲームのひと時でした。



体感ゲームの進め方説明を真剣に聞いている



四本会長から上島さんへお礼

<特別テーマ>

・阪和部正野部長よりお話。中井が2025年-26年の西日本区理事候補就任に関し、奈良クラブとして承認。

<協議事項>

・新入会員歓迎会の件→4月15日(土)、22日(土)で調整中。

<確認事項>

・4月例会 日時：4月8日(土)18:30～ 場所：あきしの保育園
卓話者：谷村博久様(大阪回生病院 副院長 消化器センター長)
テーマ：胃がんの原因へリコバクターピロリ菌について
—健診で胃カメラはするべきか—

・5月例会 日時：5月13日(土)18:30～(保育園)
卓話者の件：YMCAリーダー →上地総主事に正式に依頼し受諾済、メンバーは内部で調整中。4/20までにメンバーのアサイン・プロフィール等のご連絡依頼。

・6月例会 日時：6月3日(土)18:30～(参考：翌週、西日本区大会、翌々週、評議会) 場所：あきしの保育園
テーマ：ニコニコトーク

<報告事項>

・HP作成PT 進捗報告と今後の作業日程
・ワイズ100周年記念イベント@台湾に関する報告

<イベント日程>

- ・5月14日(日) W4W
- ・6月9・10・11日：西日本区大会@熊本

★4月例会 卓話者プロフィール★

卓話者：谷村 博久様(大阪回生病院・副院長/消化器センター長)

プロフィール：

1981年：滋賀医科大学医学部医学科卒業
1981年：大阪大学医学部第一内科学教室入局
2002年：大阪警察病院消化器内視鏡センター長
2008年：大阪回生病院副院長(内科統括部長、消化器センター長兼任)
資格等：医師、大阪大学医学博士、日本消化器病学会・専門医/指導医/評議員、日本消化器内視鏡学会・専門医/指導医/評議員、日本内科学会・認定医/評議員/研修指導医

4月 Happy Birthday

- 9日 内田 彩子
- 13日 中井 信一
- 17日 高田 嘉昭
- 30日 北林 秀彦

4月行事予定

- 1日 (土) 和歌山紀の川クラブ例会
- 4日 (火) 大阪サウスクラブ例会
- 5日 (水) 大阪長野クラブ例会
- 8日 (土) 奈良クラブ例会
- 20日 (木) 和歌山クラブ例会
- 20日 (木) 大阪河内クラブ例会
- 24日 (月) 奈良クラブ役員会
- 27日 (木) 大阪泉北クラブ例会